

令和4年度 第57回渡島公立学校教頭会研究大会 (ハイブリッド開催)

大会主題

第12期 全国統一研究主題『未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり』

～子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、
組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上～

基 調 報 告

渡島公立学校教頭会 研究担当

北斗市立島川小学校 足立 雅行

令和2年度から4年度までの取組

研究主題

「子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上」

1 主題設定の理由

- ・ 将来の予測が困難
- ・ コロナ禍への対応

積極的・能動的な「生きる力」を育むためには…

学びの継続・保障

- ・ ICT機器等の活用による組織の協働
- ・ 家庭、地域と連携し、子どもの居場所を確保するための準備

校内外にある様々な組織の活性化とその活用やマネジメントしていく力等、教頭のより主体的な関わりについて研究する

研究計画

- 令和2年度：主題設定と研修計画立案、実践交流
 - ICT機器を活用した各種会議の実践と交流
 - 各市町の教頭のデータ管理、保存の実態把握
 - GIGAスクール構想に対応する数年先を見据えたロードマップの作成
 - 令和3年度：実践の改善・深化
 - 各市町の実態把握と実践収集
 - 視点1の課題把握と改善点等の分析
 - 令和4年度：成果と課題、研究のまとめ
 - 視点2の課題把握と改善点等の分析
 - 成果の分析・まとめ
-

2つの視点

☆ 学校が組織として機能し、学校を取り巻く様々な課題に適正かつ迅速に対応するための体制づくりに関わって



【視点1】 子どもの学びを保障するための組織的なICT機器等の活用とマネジメント

① ICT機器の活用

(教育的効果と予測される問題点とその解決策等)

② 異校種間、学校間との協働性、家庭・地域との組織的な連携

【視点2】 組織の活性化を促す教頭のマネジメント

① 学校組織の活性化とデータの管理、保存の在り方

② 働き方改革との関連性について

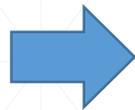
研究の全体像

① 研究推進ロードマップの作成

- ② ロードマップに基づき教頭一人一人が自校の実態を踏まえ、「学校で取り組むこと」を各自で定める
- ③ 日常的な実践と成果や課題を「共通取組シート」に蓄積する

④ 各校の実践は年次毎に各市町（単位教頭会）で取りまとめる。

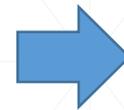
個人の取組



市町の研究



ブロック研修会



渡島研究大会

渡島公立学校教頭会 研究推進ロードマップ 2022 (ゴールの姿をイメージ化)

【研究主題】 ～子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上～

平成29年度～令和元年度までの研究成果が土台
 「教頭の役割のステイジー一覧表」、「共通取組シート」による具体的な実践の成果(→教職員の意識高揚と資質能力向上)
 ① 専門家としての意識高揚 ② 学校経営への参画意識 ③ 効果的研修
 ④ 職務意識の高揚 ⑤ 服務規律の保持徹底 ⑥ ミドルリーダーの育成

令和2(2020)年度

1年目(小学校:新学習指導要領)

令和3(2021)年度

2年目(中学校:新学習指導要領)

令和4(2022)年度

3年目(高等学校:新学習指導要領)

【視点1】子どもの学びを保障するための組織的なICT機器等の活用とマネジメント

《研究の立ち上げ》

- 5月 ・研究主題の設定
・研修計画の立案
- 6月 ・各市町での実践スタート
- 7月 ・「共通取組シート2020」
・ICT機器活用の実践交流
・データ管理等の実態把握
・働き方改革との関連検証
・外部との積極的連携
- 10月 ・研究アンケート集約①
- 11月 ・1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークの一体的整備(予定)
- 12月 ・研究アンケート集約②

実態把握・実践交流

《実践の積み上げ》

- ・各市町の実態把握と実践収集
- ・視点1についての課題把握と改善点等の分析

- ・オンライン教育の推進
- ・デジタル教科書・教材等、ICTの積極的活用
- ・異校種間・学校間の協働、家庭・地域との組織的な連携強化

課題把握・改善点分析

《研究の仕上げ》

- ・視点2についての課題把握と改善点等の分析
- ・成果の分析、まとめのデータ化

- ・全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・校内研修の充実等、チーム効力感を生み出す組織マネジメントの実現

課題解決・実践の充実

【視点2】組織の活性化を促す教頭のマネジメント

主な社会背景

「新たな社会 Society5.0」
「GIGA スクール構想」

「持続可能な開発目標 SDG's」
「学校での新しい生活様式」

Goal

全国統一研究主題

未来を生きる力を育む
魅力ある学校づくり

自ら積極的に未来を創造していく
意欲をもって行動する

時代の変化に的確に対応する

生きる力

共通取組シート

R03 渡公教「共通取組シート 2021（兼実践のまとめ）」（ ） 教頭会

【研究主題】 ～子どもの学びを保障するための組織作りに係る教育環境整備と、組織の活性化を目指した教頭のマネジメント力の向上～

<令和3年度の重点>

【視点1】 子供の学びを保障するための組織的な ICT 機器等の活用とマネジメント

○ ICT 機器 の活用	I C T機器活用の具体的な実践について	実践における成果について
○ 異 校 種 間、学校間 との 協 働 性、家庭・地 域との組織 的な連携	外部との具体的な協働・連携について	協働・連携の成果について
○ 課題把握 と改善点に ついて（研 究主題に迫 る教頭の関 わりという 視点も加味 してくださ い）	視点1に係る具体的な課題について	視点1に係る具体的な改善点について

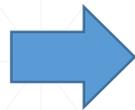
研究の全体像

① 研究推進ロードマップの作成

- ② ロードマップに基づき教頭一人一人が自校の実態を踏まえ、「学校で取り組むこと」を各自で定める
- ③ 日常的な実践と成果や課題を「共通取組シート」に蓄積する

④ 各校の実践は年次毎に各市町（単位教頭会）で取りまとめる。

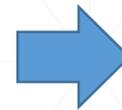
個人の取組



市町の研究



ブロック研修会



渡島研究大会

道公教第15次3ヶ年継続研究

→ コロナ禍により様々な制限がかかる中での取組



- 研究の全体像を確認
- 単任教頭会で取り組んだ成果
 - ・オンラインでの研究大会
 - ・ホームページでの資料閲覧による交流

課題改善に向けた方策や取組、成果や課題の共有化

- ・ 教頭のマネジメント力向上のための具体的な取組について整理及び実践の継続
- ・ 次年度から始まる第16次3ヶ年継続研究を見据え、継続性・関与性・協働性を視点とした取組の深化

第13期全国統一研究主題

「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」

キーワード <自立・協働・創造>

第16次3ヶ年継続研究における提言担当地区分担

			1年次	2年次	3年次
第16次全道大会開催地			2ブロ (道北)	3ブロ (渡島)	4ブロ (日高)
第13期全国大会開催地			石川	高知	茨城
開催年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度
分科会	全国共通研究課題	担当地区	(14)全国1	(14)全国1	(14)全国1
5 A	教職員の専門性に関する課題	胆振	胆振	胆振	渡島
		渡島			
		釧路市	渡島	日高	釧路市
		日高			
5 B		十勝	十勝	十勝	林-ツク
		林-ツク			
		宗谷	林-ツク	宗谷	宗谷
特別	今日的課題		2ブロ (宗谷)	3ブロ (渡島)	4ブロ (日高)

～ 御清聴ありがとうございました。～